

平成16年度

沖ノ鳥島および周辺海域の管理・利用方法案のとりまとめ報告書

沖ノ鳥島再生計画

平成17年3月

シップ・アンド・オーシャン財団

海洋政策研究所

はじめに

沖ノ鳥島研究会は、沖ノ鳥島および周辺海域の管理・利用方法の検討を目的として、平成16年12月に結成された。同研究会では関連分野の有識者を外部講師として招き、計4回の研究会を開催した。本報告書は、そのなかで討議された内容を取り纏めたものである。報告書のまとめは、東京大学・理学部、茅根創助教授が担当した。

平成17年3月
SOF 海洋政策研究所

沖ノ鳥島研究会

研究メンバー

茅根 創	東京大学 理学系研究科地球惑星科学専攻	助教授
大森 信	熱帯海洋生態研究振興財団	理事
寺島 紘士	SOF 海洋政策研究所	所長
加々美 康彦	SOF 海洋政策研究所	研究員
福島 朋彦	同上	

オブザーバー

野田 徹	国土交通省 河川局海岸室	海洋開発官
山田 吉彦	日本財団 海洋グループ	長
古川 秀雄	日本財団 海洋グループ	
高橋 秀章	日本財団 海洋グループ	

目 次

第1章	はじめに	1
1-1	問題の所在	1
1-2	沖ノ鳥島研究会と本報告書の構成	1
1-3	沖ノ鳥島問題における本報告書の位置づけ	3
第2章	沖ノ鳥島および周辺海域の自然環境の推移と現状	5
2-1	地理的位置	5
2-2	地質としての沖ノ鳥島	7
2-3	沖ノ鳥島の海面付近の地形	10
2-4	沖ノ鳥島周辺の物理環境	12
2-5	沖ノ鳥島の生物分布	13
第3章	州島形成の地形・生物過程	17
3-1	はじめに	17
3-2	サンゴ礁の形成過程	19
3-3	州島形成の地形過程	21
3-4	州島形成の生物過程	27
第4章	沖ノ鳥島州島再生計画	33
4-1	州島再生のデザイン	33
4-2	州島の形成要因	34
4-3	現状把握	35
4-4	再生のための方策	39
4-5	フィージビリティの予備的検討	43
4-6	沖ノ鳥島再生技術の環礁島嶼国への応用	44
沖ノ鳥島研究会レクチャー資料		
1)	2004年12月15日(水)	沖ノ鳥島の現状と再生 茅根 創(東京大・理・地球惑星)
2)	2004年12月15日(水)	沖ノ鳥島の再生技術 大森 信(熱帯海洋生態研究振興財団)
3)	2005年1月14日(金)	サンゴ礁に棲息する有孔虫の生態と堆積物生産力 藤田和彦(琉球大学・理・物質地球科学)
4)	2005年2月14日(月)	礁湖および周辺の海水の流れについて 蓮沼啓一(株式会社海洋総合研究所)